



あけましておめでとうございます



2018年頭のご挨拶

ゆっくりと進んで、歩む

(株)まほろば顧問

(株)まほろば自然農園代表

宮下 洋子



明けましておめでとうございます。

年初に当たって、今更ながら不思議なのですが、改めて考えると、私は、今年の目標とか、指針とか、そんな大層なものは、一度も持ったことがないのではないかと気付きました。

だから、そのようなものを示すべき新春のご挨拶で、毎年何を書こうかと迷ってしまうのです。でも、自由に好きなように生きていて、自然に出来て行けばいいなあ、というようなことはあるのです。

それは、できるだけ自給の生活を深めることと、出来るだけ環境に負荷を掛けないこと、そういう人たちが、自然に集まって自由に自然に協力しあえること。そして、私たちのように、そういう風に生きて行きたいと思う人たちが、誰でも、そうできるような基盤を作ることです。でも、それは全く昔に戻ることはありません。

現代文明の何を捨て、何を残して行くか、そして何を発展させて行くか、古い家に住みなが

ら、ゆっくりと考
えて行きたいと思
います。

私たちが都会（札幌）に住み、便利な生活をして経営者をやっている間に、何時の間にか、人に頼らなければ生きて行けない生活力のない人間になってしまっていたことに気付くこの頃です。

その点、田舎の人は遅いのです。

私たちが、業者に頼んでやってもらうことも、自分でやったり、中には自分の住む家まで自分で建てたりするのです。

自給自給と叫びながら、自分で何も出来ないことを思い知らされた二年でした。

スタート地点のレベルを下げる。ゆっくりと
進んで行くことしかありません。
今年もよろしくお願い致します。

35年目のまほろばが
皆様の拠り所になるように

當務取締役

本店店長

大橋 和則

新年明けましておめでとうございます。
旧年中は多くのご愛顧承りました事、心より感謝
申し上げます。

「昨年も自然災害が多く、年末の野菜の仕入れに
これほど苦労した年はありませんでした。」

9月の台風18号、10月の台風21号の影響で九州から関西、関東にかけて年末の野菜の作付け時期に被害を受けていたこと。12月から全国的に低温、少雨が続き生育が極端に悪かったなどの影響により、既存の産地では足りず、今までのネットワークを駆使し何とか送って頂いていましたが、数量、質的にはご迷惑をお掛けした物もあったかと思われます。

例えば宮崎県綾町の郡農園の里芋・京芋は、煮ても堅く滑りが出ないものがありました。生姜も一時期日持ちが悪い時期がありました。原因を調査した所、綾町で氷点下5度の時に低温障害による生理障害と判明しました。今まで12月中にここまで低温になった経験が無く深く反省されていました。定価でお買い上げのお客様でそのような商品をお買い上げ頂いた方は、ご返金か交換にて対応させて頂きたいと思います。

当たり前と思っていた日々の暮らしですが、自然災害が起きる度に、私たちの行いに警笛を鳴らし続けているのではと思ってしまいます。想定外を想定していましたが、それを遥かに超えてきています。本年が穏やかであって欲しいと願うばかりです。

私事ですが今年で入社30年、その間色々なドラマがあり、他では経験できない濃厚な時間を過ごさせて頂いています。今迄多くの皆様にお世話になりながら、自分なりにではありますが成長出来て来た事をお客様、取引先の皆様、社長夫妻、従業員にこの場をお借りしましてお礼申し上げます。

実は入社当時、食には全く興味がありませんでした。しかし、0-1テストを習得する過程の中で、食の大切さや質、バランス、生命力、自然環境など、身を以て経験し、重要性を実感して来ました。年末にある医者の著書を読み、医学的にも学術論文的にも納得できる部分があり、自分で人体実験してみましたが、どんなに医療データがあったとしても自分の代謝能力を超えて摂取するのはマイナスにしかならないと再認識しました。「○○健康法」や「○○に効く」の言葉に右往左往している国民性。人の真似ではなく、自分自身の代謝能力を知り、自分を信じ、内なる声に従い、自分流の健康法を見出すしか近道は無いように思います。

農薬や添加物が少なく、自然環境に負荷を掛けない当たり前の生活を普通に実践することが大切であり、自然食業界があること自体が不自然ではないかと最近感じています。私たちが出す情報は、一歩間違えますと利己的になりやすい情報が多く、大切ではありますが囚われ易い反面も持ち合わせています。

今後の有機市場を鑑みたとき、30年前よりは遙かに広がりを見せてはいますが、世界の有機食材

の広がりから比較しますと、日本はかなり立ち遅れています。

日本に於けるオーガニックとは？ 安心、安全、美味しい、体に良いなど、切っ掛けのベクトル（方向性・志向性・傾向性）がどちらかというと「自己の為」です。

有機先進国のEUに於けるオーガニックとは？
環境、食、生き方、考え、経済、教育など、人間本来の自然に寄り添った暮らしであり、切っ掛けのベクトルが「利他の為」です。2020年の東京オリンピックまでは、政府主導で日本の有機市場は、理念なき広がりを見せると思いますが、なぜ有機なのか？ その本質的な広がりや価値観の変化を期待します。

先が見えない不安な世の中、日本のGDPは世界3位なのに、若者の自殺率は世界トップクラス。資本主義経済の中で格差を生み、心の闇が増え、少子高齢化の波を止めることが出来ない昨今であります。まずは基本的な食を正すことから、心の豊かさを取り戻していくしかないようにも感じますし、まほろばとしても存在意義を確たる物にしていきたいと思います。

近年の新たな問題として「香害」が社会問題になりつつあります。柔軟剤や人工的な香料による健康被害です。化学物質過敏症の人にとっては致命的ですが、進学塾では受験勉強中の柔軟剤の使用を父兄に使用禁止にしている所も最近は出始めています。本来無くて良いと思われる商品を、宣伝効果により売り上げを急激に伸ばしています。が、今の経済社会が生み出した「新しい公害」として今後の社会問題になることは間違いありません。国としての対策が今のところ遅れていますので、消費者一人一人が賢く選択していかなくてはと思います。

社長夫妻が仁木町に就農して3年目。

種・土・水・太陽に直に触れ、新たな気付きや体験を通し、情報発信や生命力高い農産物の提供を受けながら、35年目のまほろばが皆様の拠り所になるよう精進して行きたいと思いをします。

どうかご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいた
します。

本年が皆様にとって幸多き年になりますようお祈り申し上げます。

